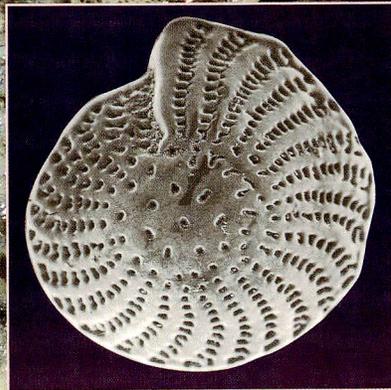
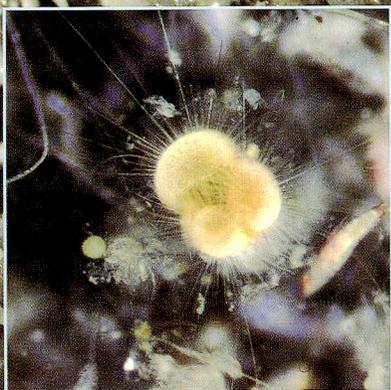


# 鹿児島大学南太平洋海域研究センター シンポジウム

## 有孔虫からみた環境と古環境

期日:1998年2月28日(土)(13時-17時)

場所:鹿児島大学稲盛会館



企画:八田 明夫(鹿児島大学教育学部)

北里 洋(静岡大学理学部):有孔虫はなぜ環境や古環境の指標として使えるのか?

Johann HOHENEGGER(Universitaet Wien):Larger Foraminifera - microscopical greenhouses indicating shallow water tropical and subtropical environments in the present and past

八田明夫(鹿児島大学教育学部):西太平洋における浮遊性有孔虫の分布と日周期運動

尾田太良(熊本大学理学部):海洋古環境の復元をめざして-浮遊性有孔虫からのアプローチ

野村律夫(島根大学教育学部):新生代地球環境の変遷と有孔虫

大木公彦(鹿児島大学理学部):鹿児島市は冷たい海の底だった-底生有孔虫化石から読み取れる氷河期の証拠

主催:鹿児島大学南太平洋海域研究センター  
〒890 鹿児島市郡元1-21-24 電話(099)285-7394